

技術・家庭科（家庭分野） 学習指導案

題材名「とっておきのあずま袋製作 ～わたしも世界も幸せに～」〔学指要領：B(5)〕

令和5年〇月〇日（〇） 第5校時 被服室
高崎市立群馬南中学校 〇年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 題材の構想

1 題材の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	・製作する物に適した材料や縫い方について理解するとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	
思考力、判断力、表現力等	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	
学びに向かう力、人間性等	・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。	

2 評価規準

知識・技能	①製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。
思考・判断・表現	①資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、問題を見いだして課題を設定している。 ②資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について考え、工夫している。 ③資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	①生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ②生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について工夫し創造し、実践しようとしている。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 ※別紙参照

4 題材の価値

あずま袋は、江戸時代に西洋の鞆を真似て、手ぬぐいなどの1枚の布を直線で縫い合わせて袋にしたものである。家庭で余っているハンカチ等でも作ることができるため、身近にある布製品を再利用した製作することに適している。製作手順が容易で短時間に製作ができるため、基本形のあずま袋の製作から、自分や家族が使いやすいオリジナルのあずま袋の製作へと段階的に製作を繰り返す中で、製作に必要な知識や技能を身に付けられるだけでなく、自分で見つけた改善点を次に生かすことができる。また、大きさやデザインを自由に選択して製作ができるため、自分や家族のライフスタイルに合わせた製作を工夫し創造することができる。

II 本時の学習（1／6）

1 ねらい あずま袋の見本の観察を基に、疑問点や布製品の再利用について話し合うことを通して、布製品を再利用した物の製作についての問題を見だし、課題を設定することができる。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕	主な発問	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p><めあて> あずま袋の見本の観察を基に、疑問点や布製品の再利用について話し合い、課題を立てよう。</p> <p>S：あずま袋は手軽に作れるし、便利そうだな。家庭で使わない手ぬぐいやハンカチで作ってみたいな。</p>		<p>○布製品を再利用した物の製作について問題を見だし、課題を設定するという目的意識をもつことができるように、あずま袋の見本を提示する。</p> <p>○あずま袋は、手ぬぐいを再利用し、直線縫いで縫い合わせているだけの簡単なつくりであることに気付けるように、見本のあずま袋の材料と縫い方を問いかける。</p>
<p>2 見本のあずま袋を観察して疑問点や布製品の再利用について話し合い、問題を見いだす。（20分）</p> <p>S：角を少し縫うだけでまちが作れるなら、まちがある方がお弁当などを入れやすそうだな。家には手ぬぐいはないかもしれないけど、ハンカチを使っても同じ縫い方でできるのかな。</p> <p>S：友達が言うとおりの、普段はハンカチとして使って、必要な時に袋として使えるのは便利だな。それに、家庭にある手ぬぐいやハンカチを再利用するから環境に優しいな。</p>		<p>○疑問点や布製品の再利用について話し合うことができるように、「まち」の有無による縫い方や出来上がりの大きさなどを比較したり、自分の学用品などを入れて、使い勝手を確かめたりするよう促す。</p> <p>○布製品を再利用した物の製作についての問題を見いだすことができるように、見本のあずま袋の観察や話し合いで感じたり考えたりしたことを、グループごとにホワイトボードに記述するよう助言する。</p>
<p>3 見いだした問題を基に課題を立てる。（20分）</p> <p>S：環境のことを考えて布製品を再利用するのであれば、手ぬぐいやハンカチだけでなく、小さくて着られなくなった浴衣を使って作るのもいいのではないかな。</p> <p>S：他のグループが書いている、家族が使いやすい大きさやデザインで作って、みんなで使えるようにしたいという考えはいいな。縫うところが少なく簡単に製作できるのだから、自分の分だけでなく、家族の分も作ることができるな。</p> <p><課題> 環境に優しく、自分や家族が使いやすいオリジナルあずま袋を作るには、どうすればよいのだろうか。</p>		<p>○見いだした問題を共有し、自分たちが追究していく課題を検討できるように、ホワイトボードの記述を撮影し、ロイロノートで提出するよう促す。</p> <p>【★一覧表示】</p> <p>○解決の目的となる自分と家族や地域、社会とのつながりを明確にして課題を設定できるように、記述内容の共通点や相違点に着目するよう助言する。</p> <p>◆評価項目（思①） ホワイトボードの記述内容、発言から、「布製品を再利用した物の製作計画や製作について、問題を見いだして課題を設定しているか」を評価する。</p>
<p>4 本時の振り返りをする。（5分）【★保存・提出】</p> <p>S：これまで、ナップサックなどを作ったときは、環境のことまで考えていなかった。あずま袋を作るときは、家にある使わなくなった手ぬぐいやハンカチなどを使うことで、環境や資源にも配慮した製作もできるようにしたい。</p> <p><振り返り> S：1枚の手ぬぐいを2カ所縫っただけで、簡単に作ることができるあずま袋を初めて知った。普段はハンカチとして使うこともできるし、エコバッグとしても使うこともできるのがあずま袋のよさだと感じた。私の家にも使っていない手ぬぐいやハンカチなどがきつとあるから、それらを有効に活用して、自分や家族が使いやすいあずま袋を作っていきたい。</p>		<p>○家庭科の学び方が身に付いていることを実感できるように、生活の中から問題を見いだして課題を設定できたことを称賛する。</p> <p>○次時以降の活動の見通しがもてるように、分かったことやできたこと、今後取り組みたいことを視点に振り返りをするよう促す。</p>

(別紙)

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全6時間: 本時第1時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	・あずま袋の見本の観察を基に、布製品の再利用について考え、課題を立てる。(あ) 題材の課題 環境に優しく、自分や家族が使いやすいオリジナルあずま袋を作るには、 どうすればよいのだろうか。		①	
家	・あずま袋の製作手順を動画で確認する。(あ)(a) ・再利用できる手ぬぐいやハンカチなどを調査する。			
2	・基本形のあずま袋を製作する。(あ)	①		①
3	・オリジナルあずま袋の製作計画を立てる。(あ)		②	②
4,5	・オリジナルあずま袋を製作する。(あ)	①	③	③
家	・製作したあずま袋を使用したり、他の布製品を再利用した製作をしたりする。(あ)		④	③
6	・実際にあずま袋を使用したり、布製品を再利用した製作をしたりした感想を話し合い、 題材全体の振り返りをする。(あ)			

*活用する学習支援ソフト等:(あ) ロイロノート

*活用するコンテンツ等:(a) あずま袋の作り方動画